

③ 次の線のことをば、れいにならって、漢字と送りが
 まで書きましょう。

れい 空がはれる……〔晴れる〕

① あかるい日ざし
 ② 風がよわまる

③ バスがとおる
 ④ だんごをまるめる

⑤ すこしたりない
 ⑥ よくかんがえる

[]	[]	[]
[]	[]	[]
[]	[]	[]
[]	[]	[]

④ 次の線の漢字は、それぞれ読み方がちがいます。それ
 ぞれの読み方を書きましょう。

① 作る 工作

② この間 人間

③ 後ろ 前後

④ 来る 来年

⑤ 次の文章の中から、かたかなで書くことばを五つさがし
 て、かたかなになおして書きましょう。

ぼくは、いつかあめりかにいってやきゆうせんしゅになり
 たい。びっちゃーのなげたはやいぼーるを、かきんとうち
 かえすのがゆめだ。かいがいでかつやくしているせんしゅの
 にゆうすをみると、わくわくしてくる。

[]

[]

[]

[]

[]

⑥ 次の文の主語（「だれが」「何が」にあたることば）を書き
 ぬきましょう。

① 大きなひまわりが元気にさいた。

② ぼくの家のにわには、白い犬がいる。

③ きれいな声でお母さんが子守歌を歌った。

[]

[]

[]



2年のふく習

2

① 線の漢字の読みがなを書きましよう。

② 次の□にあてはまる漢字を書きましよう。

学習日

月

日

□① 何回か数える

□② 画用紙にかく

□③ たのしい音楽

□④ 方角をたしかめる

□⑤ 黒ばんの字をけす

□⑥ 大切な友だち

□⑦ 正月のごちそう

□⑧ 一台の車

□⑨ 人が多い

□⑩ 社会のノート

□⑪ あたりを見回す

□⑫ 合体する

□⑬ めずらしい地名

□⑭ 今日は晴天だ

□①

り
か

がすきだ

□②

らい
ねん

のよてい

□③

ほし
ぞら

を見る

□④

はん
ぶん

に切る

□⑤

げん
き

が出る

□⑥

にん
ぎょう

を作る

□⑦

きた
かぜ

がふく

□⑧

ひろい
そう
げん

□⑨

さと
やま

のしぜん

□⑩

ほそ

いはりがね

□⑪

き
しゃ

にのる

□⑫

つよ

い力でおす

□⑬

こん
しゅう

のニュース

□⑭

ちち

と出かける

1 分ける・くちを切る／よく聞いて、じこしょうかい

学習日

月 日

漢字をおぼえよう

●新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

シ	例詩人	⑬言	シユウ	ならう	例習字	⑭羽
詩	詩詩詩詩詩	詩	習	羽羽羽羽	習	羽

練習しよう

① 次の——線の漢字の読みがなを書きましょう。

- ① 詩を読む
- ② 学 習する

② じこしょうかいをするときや、じこしょうかいをしている人の話を聞くとときには、どんなことに気をつけますか。次の文の「」にあてはまることばを、あとから「」でつづらんで書きましよう。(同じことばは一回しかつかえません。)

□① みんなに聞こえるように、

話す。

□②

ことばで話す。

□③ じこしょうかいをしている人の話を

聞

きちんと みじかい はっきりと

③ 次の表は、やさいとくだものを、あるとくちようによつて分けてせいりしたものです。「」①～⑤にあてはまるものをあとから「」でつづらび、記号で答えましよう。

		やさい	くだもの
(①)	アスパラガス・キャベツ・(②)	キウイ	
(③)	トマト・(④)	サクランボ・(⑤)	

- | | | | |
|-----|--------|--------|---------|
| ア 黄 | イ りんご | ウ だいこん | エ ほうれん草 |
| オ 赤 | カ にんじん | キ なす | ク みかん |
| ケ 緑 | コ 白 | | |

□①

□②

□③

□④

□⑤

4 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

どきん

たにかわしけんたろう
谷川 俊太郎

さわってみようかなあ つるつる

おしてみようかなあ ゆらゆら

もすこしおそうかなあ ぐらぐら

もいちどおそうかなあ ①がらがら

たおれちゃったよなあ えへへ

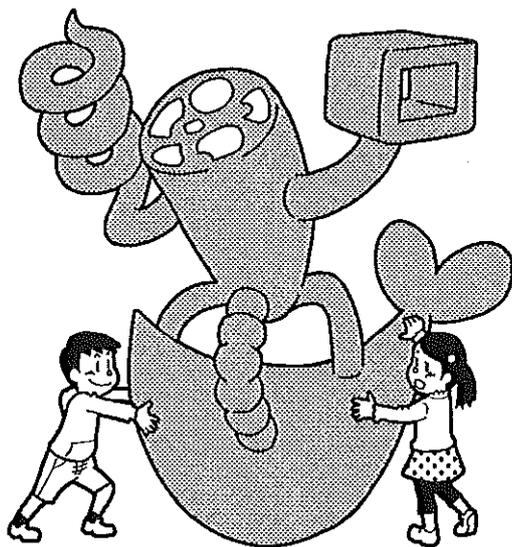
いんりよくかんじるねえ みしみし

ちきゆうはまわってるう ぐいぐい

かぜもふいてるよお そよそよ

あるきはじめるかあ ひたひた

だれかがふりむいた！ ②どきん



10

5

□(1) 線アからウの中で、もっとも強く読むところはどこですか。記号で答えましょう。

□(2) 詩の中から、次の音やようすをあらわすことばを一つずつ書きぬきましょう。

① ものがくずれてくる音。

② 何かがだんだんせまってくるようす。

□(3) 線①「えへへ」は、どんなようすをあらわしていますか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア かってにたおれてしまったので、あきれている。

イ とつぜんたおれてきたので、びっくりしている。

ウ 自分がたおしてしまったので、ごまかしてわらっている。

□(4) 線②「どきん」は、どんな気もちをあらわしていますか。なぜ、そんな気もちになったのか、そのわけも分かるように書きましょう。

2

あつてまきの商売(1)

漢字をおぼえよう

●新しい漢字—漢字の練習をしましょう。

事	面	実	族	物	商
事 事 事 事 事	而 而 而 而 而	実 実 実 実 実	族 族 族 族 族	物 物 物 物 物	商 商 商 商 商
事	面	実	族	物	商
⑧ ↓	⑨ 面	⑧ ム	⑩ 方	⑧ 牛	⑩ 口
登	所	葉	開	動	
登 登 登 登 登	所 所 所 所 所	葉 葉 葉 葉 葉	開 開 開 開 開	動 動 動 動 動	
登	所	葉	開	動	
⑫ 犬	⑧ 戸	⑫ 艹	⑫ 門	⑪ 力	

◆ 母さん	木の 実	時 間	強 い	開 会	開 く	国 語	売 る
◆ 二人	↓ 実 話	↓ 間 に合 う	↓ 強 弱	↓ 開 ける	↓ 開 店	↓ 物 語	↓ 商 売
◆ 今朝	◆ 今 朝	言 う	弱 い	場 所	土 地	分 ける	人 物
◆ 今日	◆ 今日	↓ 言 葉	↓ 強 弱	↓ 登 場 人 物	↓ 地 面	↓ 四 分 音 符	↓ 物 語

●読み方が新しい漢字—読みがなを書きましょう。

◆教科書

① P. 15 ~ P. 29

学習日

月

日

練習しよう

1 次の線の漢字の読みがなを書きましよう。

① 商売をはじめる ② 動物園に行く

③ 店が開く ④ なかのよい家族

⑤ さくらの葉っぱ ⑥ どんぐりの実

⑦ 日の当たる場所 ⑧ 地面をほる

⑨ お話の登場人物 ⑩ 朝の出来事

2 次の文を音読するときは、どのように読めばよいですか。あとから一つずつえらび、記号で答えましよう。

① きつつきも、うっとり聞いていました。

② きつつきは、みきを力いっばいたたきました。

ア 早口で読む。 イ 力強く読む。
ウ しずかにゆっくりと読む。

3 次の線の言葉の意味をあとから一つずつえらび、記号で答えましよう。

① えりすぐりの絵本を読む。

ア だれも知らなくてめずらしいもの。
イ りっぱで、ねだんが高いもの。
ウ よいものの中からさらにえらんだもの。

② できたてのパンを買う。

ア たった今でできたばかりのこと。
イ 少し前にできていること。
ウ とてもおいしいこと。

③ 友だちのたのみを、しようちする。

ア どうしようかと、考える。
イ 聞き入れる。引きうける。
ウ 聞いて、しんぱいする。

4 意味がつうじるように、①～⑤の言葉とア～オの言葉を、
——でむすびましよう。

① 長い時間が ア とじる。

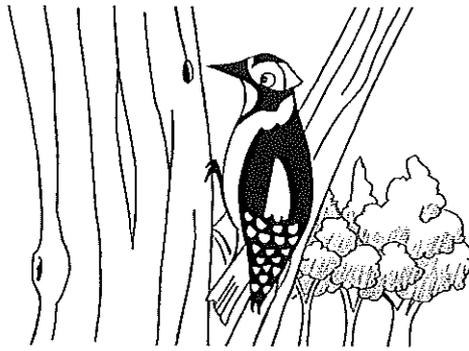
② だまって目を イ こだまする。

③ 絵をじっくり ウ すぎる。

④ 音が森に エ かつぐ。

⑤ にもつをかたに オ ながめる。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。



きつつきが、お店を開きました。それはもう、きつつきにぴったりのお店です。

きつつきは、森中の木の中から、えりすぐりの木を見つけてきて、かんばんをこしらえました。

かんばんにきざんだお店の名前は、こうです。

おとや

② それだけでは、なんだか分かりにくいので、きつつきは、その後に、こう書きました。

「できたての音、すてきない音、お聞かせします。四分音符一こにつき、どれでも百リル。」

「へええ。どれでも百リル。どんな音があるのかしら。」

③ そう言って、まっさきにやって来たのは、茶色い耳をぴんと立てた野うさぎでした。野うさぎは、きつつきのさし出したメニューをじっくりながめて、メニューのいちばんはじっこをゆびさしながら、

「これにするわ。」

と言いました。

□(1) きつつきが開いたのは、どんなお店ですか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア かんばんを作るお店。

イ 歌を聞かせるお店。

ウ 音を聞かせるお店。

□(2) 線①「きつつきにぴったり」なのは、なぜですか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

ア 森の中の木の上ですんでいるから。

イ くちばしで木をたたいて、音を出すのがうまいから。

ウ どんな鳥よりも、鳴き声がきれいだから。

□(3) 線②「その後に、こう書きました」とありますが、なぜですか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書きぬきましょう。

かんばんにきざんだ□という名前だけでは、何の店か分かりにくかったから。

□

□(4) きつつきは、かんばんに、どんな音を聞かせると書いたのですか。文章中から書きぬきましょう。

□/10

ぶなの音です。

「四分音符分、ちょうだい。」

「しようちしました。では、

④ どうぞこちらへ。」

きつつきは、野うさぎをつ

れて、ぶなの森にやって来ま

した。

それから、野うさぎを、大

きなぶなの木の下に立たせる

と、自分は、木のでっぺん近くのみきに止まりました。

「さあ、いきますよ、いいですか。」

きつつきは、木の上から声をかけました。野うさぎは、き

つつきを見上げて、こっくりうなずきました。

「では。」

きつつきは、ぶなの木のみきを、くちばしでかいつぱい

たたきました。

コーン。

ぶなの木の音が、ぶなの森にこだましました。

野うさぎは、きつつきを見上げたまま、だまって聞いて

いました。きつつきも、うっとり聞いていました。

四分音符分よりも、うんと長い時間がすぎてゆきました。

(林原 玉枝「きつつきの商売」より)



40

35

30

□ (5) メニューには、何が書いてあるのですか。次から一つえ

らび、記号で答えましょう。

ア おいしい食べ物の名前。

イ いろいろな木の名前。

ウ 森にすんでいる動物たちの名前。

10

□ (6) 線③「これにするわ」とありますが、野うさぎは何

をたのんだのですか。

15

□ (7) 線④「どうぞこちらへ」とありますが、「こちら

とはどこですか。文章中から書きぬきましょう。

10

□ (8) きつつきの出した音が、とてもすてきな音だったと

いうことは、きつつきのどんなようすから分かりますか。

文章中から一文を書きぬきましょう。

15

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

ぶなの森に、雨がふりはじめます。

きつつきは、^①新しいメニューを思いつきました。

ぶなの木のうろから顔を出して、空を見上げていると、

「おはよう。きつつきさん。」

「何してるんですか。きつつきさん。」
木の下で、声がありました。

見下ろすと、ぶなの木のねもとに、野ねずみの家族が、みんなできつつきを見上げています。

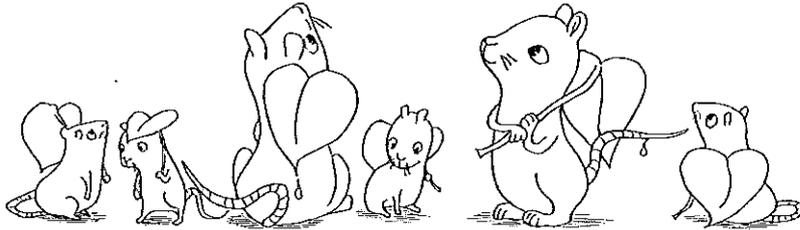
たちつぼすみれの葉っぱのかさをかたにかついで、上を見上げているので、みんな、顔中びしょぬれでした。

「おとやの新しいメニューができたんですよ。」

きつつきは、ぬれた頭をぶるんとふって、言いました。

「へえ。」

「今朝、できたばかりの、できたてです。」²⁰



□(1) 線①「新しいメニュー」を、きつつきが思いついたのは、どんなお天気の日でしたか。

(2) 野ねずみの家族について、次の問いに答えましょう。

□① どこから、きつつきを見上げているのですか。

10点×3

30

□② 何をかさにしていますか。

□③ どんな顔をしていますか。

□(3) きつつきが、「新しいメニュー」を書こうか書くまいか考えていたのは、どうしてですか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

10

ア おきやくさんに気に入られるか分からなかったから。

イ おとやをやるのがいやになってきているから。

「へえ。」

「でもね、もしかしたら、あしたはできないかもしれないから、メニューに書こうか書くまいか、考えてたんですよ。」

「へえ。じゃあ、とくべつメニューってわけ。」

「そうです。とくとく、とくべつメニュー。」

「そいつはいいなあ。ぼくたちは、うんがいいぞ。それで、その、とくとく、とくべつメニューも、百リル。」

「いいえ。今日のは、ただです。」

「よかった。ますますうんがいいぞ。ここに、おとやが開

店して、すてきない音を聞かせてもらってるってことは、もうずいぶん前から聞いてただけだね。今日やっと、はじめてみんなで来てみたんですよ。」

「朝からの雨で、おせんたくができないものですから。」

母さんねずみが言うつと、

「おにわのおそうじも。」

「草の実あつめも。」

「草がぬれてて、おすもうもできないよ。」

「かたつむりたちは、できるけど。」

「かたつむりじゃなくて、あまがえるだってば。」

「どっちもだよ。」

子どもたちも、口々に言いました。

(林原 玉枝「きつつきの商売」より)

40

35

30

25

ウ あしたは、思いついた音を聞かせられないかもしれないから。

□(4) 「新しいメニュー」がすぐとくべつだということは、きつつきのどんな言い方に表れて(あらわ)いますか。その部分(ぶ)を書きぬきましょう。

10

□(5) 線②「ますますうんがいいぞ」とありますが、野ねずみの家族がそう思ったのはなぜですか。次から一つえらび、記号で答えましょう。

20

ア 今日の音はとくべつメニューで、しかもただだから。
イ 今日は雨がふっているので、ほかのきやくがないから。
ウ 今日は新しいメニューができていますし、しかも百リルだから。

□(6) 野ねずみの家族はどんなうわさを聞いていたのですか。次の文の() にあてはまる言葉を、文章中から書きぬきましょう。

20

ぶなの森に、おとやが開店して、

こと。

図書館 たんていだん
国語辞典 を使おう

漢字をおぼえよう

●新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

題 題 題 題 題 題 題 題 題 題 ⑮頁	酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 酒 ⑩西	由 由 由 由 由 由 由 由 由 由 ⑤田	漢 漢 漢 漢 漢 漢 漢 漢 漢 漢 ⑬水	意 意 意 意 意 意 意 意 意 意 ⑬心	使 使 使 使 使 使 使 使 使 使 ⑧人	館 館 館 館 館 館 館 館 館 館 ⑬食
章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 ⑪立	問 問 問 問 問 問 問 問 問 問 ⑪口	温 温 温 温 温 温 温 温 温 温 ⑫水	調 調 調 調 調 調 調 調 調 調 ⑮言	味 味 味 味 味 味 味 味 味 味 ⑧口	深 深 深 深 深 深 深 深 深 深 ⑪水	号 号 号 号 号 号 号 号 号 号 ⑤口

平
 平 平 平 平 平
 平
 例 平行 ⑤千

●読み方が新しい漢字——読みがなを書きましよう。

① 年内。 ↓ ② 内。 がわ
 ③ 三角形。 ↓ ④ 人形。

練習しよう

次の線の漢字の読みがなを書きましよう。

- ① 図書館へ行く
- ② 番号であらわす
- ③ 手を使う
- ④ 深い川
- ⑤ 言葉の意味
- ⑥ 漢字を書く
- ⑦ 本で調べる
- ⑧ 自由にあそぶ
- ⑨ 温かいスープ
- ⑩ あま酒をのむ

練習しよう

次の線の漢字の読みがなを書きましょう。

⑦ が く

⑧ のくつ

⑨ 一 円

⑩ 風が い

⑪ たか 山

⑫ ニ の うま

⑬ 駅えきの ばい てん

⑭ 本を か う

- ① 次の日曜日
- ② 遠い昔の出来事
- ③ 書き表す
- ④ 正しい発音
- ⑤ 県道を歩く
- ⑥ 有名な作家
- ⑦ 氷がとける
- ⑧ 六十秒の時間
- ⑨ 農家のおじさん
- ⑩ 野球を見る
- ⑪ ゆうびん局

② 次の食べ物のの中から春のものではないものを一つえらび、記号で答えましょう。

- ア わらび
- イ よもぎ
- ウ まったけ
- エ ぜんまい

③ 次のせつめいは、音と訓のどちらについてのべたものですか。番号で答えましょう。

- ① 中国語の発音をもとにした読み方である。
- ② 日本の言葉の意味に合う漢字に、日本の読み方をあてはめた読み方である。
- ③ 聞いたただけですぐにその意味が分かる。
- ④ 聞いただけではその意味が分かりにくい。

・音

・訓

④ 次の線の漢字の読みがなを、音読みはかたかなで、訓読みはひらがなで書きましょう。

(1)	① 朝食	(2)	① 物語
② 朝日	<input type="text"/>	② 動物	<input type="text"/>

⑤ 次の漢字は、読み方が多い漢字です。それぞれの読み方を、下の送りがなにつづくように書きましょう。

(1) 下	(2) 生
① <input type="text"/>	① <input type="text"/>
② <input type="text"/>	② <input type="text"/>
③ <input type="text"/>	③ <input type="text"/>
りる	える

7

もっと知りたい、友だちのこと
きちんとつたえるために／漢字の広場2

漢字をおぼえよう

●新しい漢字——漢字の練習をしましょう。

ケツ	き・める	き・まる	⑦水
決	決	決	決
ソウ	あい	⑨目	
相	相	相	相
着	着	着	着
フク	例冬服	⑧月	
服	服	服	服
セイ	ととの・える	例整数	⑩文
整	整	整	整
ラク	お・ちる	お・とす	⑫+
落	落	落	落
ヨウ	例洋食	⑨水	
洋	洋	洋	洋

●読み方が新しい漢字——読みがなを書きましよう。

①	心と体	②	中心
③	一人		

●二年生で習った漢字——次の読みがなを漢字で書きましよう。

- ① つなを ひ く
- ② 先生と あ う

③ まる い いわ

⑤ 星が ひか る

⑦ 日が あ たる場所

⑨ 数学の てん さい

⑪ ち ず を見る

⑬ いえ に かい る

⑮ いっ ばん みち

④ 車が と まる

⑥ 人が とお る

⑧ こころ ぼそ い思い

⑩ ほう がく を調べる

⑫ ゆみ や をひく

⑭ げん き になる

⑯ しん ゆう と話す

教科書 上 P. 40 ~ P. 46

学習日

月 日

□ 17

ふと
い木

□ 18

と
を開ける

□ 19

深い たに

□ 20

学校へ い
く

練習しよう

1 次の線の漢字の読みがなを書きましよう。

□ ① 話すことを決める

□ ② 交通整理

□ ③ 相手につたえる

□ ④ ハンカチを落とす

□ ⑤ シャツを着る

□ ⑥ すてきな洋服

2 次の文は、話を聞いてしつもんするときの話の聞き方についてのものです。「」にあてはまる言葉を、あとから一つずつえらんで書きましよう。

□ ① 話を聞くときは、話の

をきちんとなら

えて聞く。

□ ② 話を聞くときは、自分が

を考え

ながら聞く。

かんそう 知りたいこと 中心
言葉づかい 話すときのたいど

3 しつもんするときを正しくつづけることとして正しいものには○を、正しくないものには×をつけましよう。

□ ① () どんなことを知りたいのか、はっきりさせる。

□ ② () 分からないことがあったら、話のとちゅうでも、すぐにしつもんする。

□ ③ () 話している人の方をきちんと見て、しつもんする。

□ ④ () 知りたいことについて、どのようにしつもんするとよいかを考える。

□ ⑤ () 知りたいことや分からないことの中から一つだけえらんでしつもんする。

4 次の言い方は、大事なことがぬけているために、相手に言いたいことがきちんとつたわりません。なぜつたわらないのか、その理由をあとから一つえらび、記号で答えましよう。

「今、となりの犬がねこをおいかけているのを見たよ。きつとにげ出したんだね。」

ア いった犬がねこをおいかけたのか分からないから。
イ 犬がどんなふうにおいかけているのか分からないから。
ウ にげ出したのがねこか犬か分からないから。

□

1 線の漢字の読みがなを書きましよう。1点×18

/ 18

① にぎやかな商店

② 温かくもてなす

③ 国語の学習

④ 白いシャツを着る

⑤ 詩を作る

⑥ 洋食がすきだ

⑦ 理由を話す

⑧ ゆうびん局の前を通る

⑨ 氷でひやす

⑩ 今朝はねむい

⑪ となりの家族

⑫ 木の実を食べる

⑬ 言葉の意味

⑭ 農地をたがやす

⑮ 一秒の出来事

⑯ 物事のしくみ

⑰ みどり色の葉

⑱ 水平線のかなた

2 次の□にあてはまる漢字を書きましよう。2点×14

/ 28

学習日

月

日

とく点

100点

① みんなで

□
□
する

② □
□
な話

③ 電気を

□
う

④ □
□
をかえる

⑤ さいふを

□
とした

⑥ □
□
と話す

⑦

□
□
をする

⑧ □
□
べる

⑨ 正しい

□
□
おん

⑩ □
□
く

⑪ おずかしい

□
□
だい

⑫ □
□
どう

⑬ 言葉で

□
す

⑭ □
□
をかう

③ 国語辞典に出てくる順に、次の言葉の () に番号をつけましょう。
 完答3点×2 / 6

- | | | |
|---|-----|-------|
| ① | () | どうあげ |
| | () | どうあん |
| | () | どういつ |
| | () | とうがらし |
| ② | () | しょうこ |
| | () | じゅうがつ |
| | () | しゅうい |
| | () | しゃめん |

④ 次の線の漢字は、それぞれ読み方がちがいます。それぞれの読み方を書きましよう。
 2点×8 / 16

- | | | |
|-----|--------|----------------------|
| (1) | ① 売店 | <input type="text"/> |
| | ② 売りもの | <input type="text"/> |
| (2) | ① 県道 | <input type="text"/> |
| | ② 帰り道 | <input type="text"/> |
| (3) | ① 早朝 | <input type="text"/> |
| | ② 朝日 | <input type="text"/> |
| (4) | ① 強大 | <input type="text"/> |
| | ② 力が強い | <input type="text"/> |

⑤ 次の二通りの読み方をする漢字を書きましよう。

- | | | |
|---|------|----------------------|
| ① | カイ | <input type="text"/> |
| | ひら・く | <input type="text"/> |
| ② | ナイ | <input type="text"/> |
| | うち | <input type="text"/> |
| ③ | カン | <input type="text"/> |
| | ま | <input type="text"/> |
| ④ | ブ | <input type="text"/> |
| | わ・ける | <input type="text"/> |
- 2点×4 / 8

⑥ 次の文の「 」にあてはまる言葉を、あとから一つずつえらんで書きましよう。
 3点×4 / 12

- | | | |
|---|------------|-----------|
| ① | 自分に | のぼうし。 |
| ② | チャイムが鳴ったら、 | に教室を出て行く。 |
| ③ | クイズの答えを | 考える。 |
| ④ | よい音を聞いて | する。 |

うっとり まっさき じっくり ぴったり

⑦ 次のようなしつもんはどんなときにつかいますか。あとから一つずつえらび、記号で答えましよう。 4点×3 / 12

- | | | |
|---|---------------------------|----------------------|
| ① | 「なぜ・どうして」をたずねるしつもん。 | <input type="text"/> |
| ② | 「どのように」をたずねるしつもん。 | <input type="text"/> |
| ③ | 「いつ・どこで・だれが・何を」をたずねるしつもん。 | <input type="text"/> |

- ア 知らないことや、分からないことを聞きたいとき。
 イ 話し手のしたことや考えたことの理由を知りたいとき。
 ウ 物事のようにすや、方法をくわしく聞きたいとき。